

新島の火山活動解説資料（平成 29 年 5 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2）
式根監視カメラ（丹後山の西南西約 4 km）による観測では、丹後山山頂部に噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）
新島付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）
GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

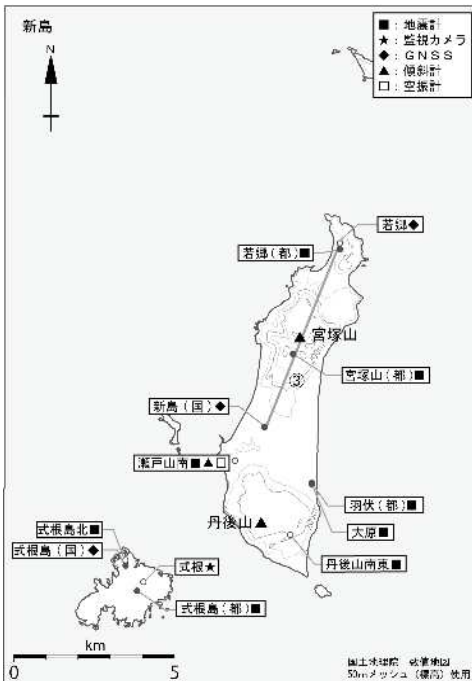


図 1 新島 観測点配置図

GNSS 基線は図 3 の に対応しています。



図 2 新島 丹後山山頂部の状況
(5月3日、式根監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) で閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 6 月分）は平成 29 年 7 月 10 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』、『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号: 平 26 情使、第 578 号)。

【計数基準の変遷】	
A型地震	
2010年10月1日(観測開始)～	瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内
BH型地震	
初期 2010年8月2日～2013年9月30日	瀬戸山南振幅0.8 μ m/s以上
変更 2013年10月1日～	瀬戸山南振幅4.0 μ m/s以上

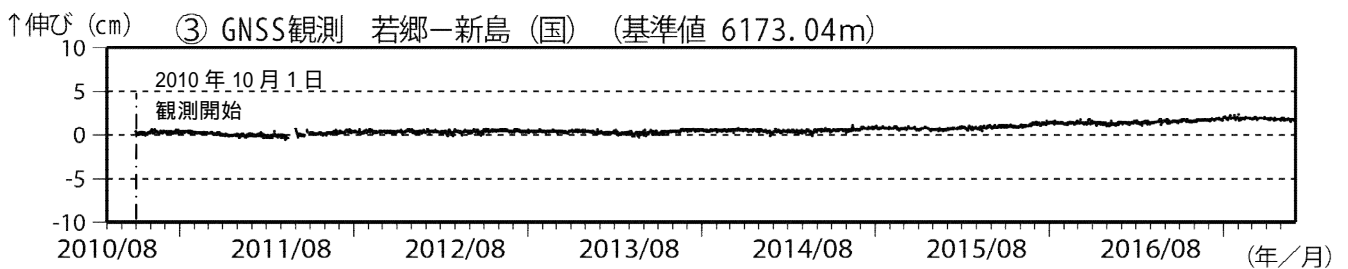
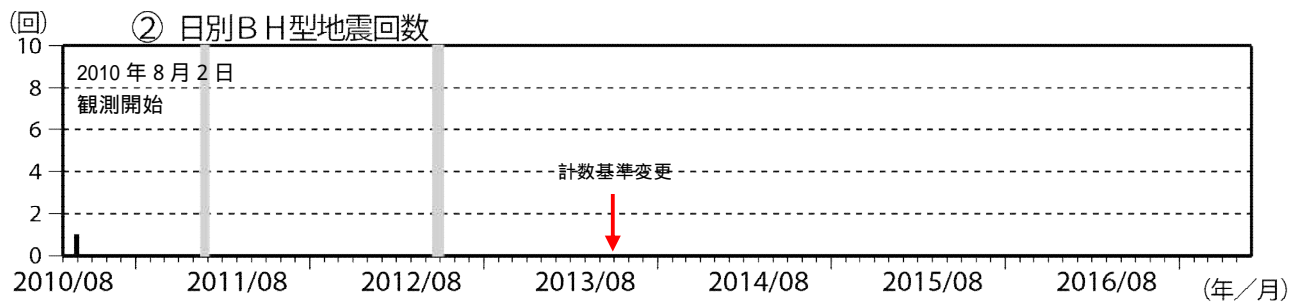
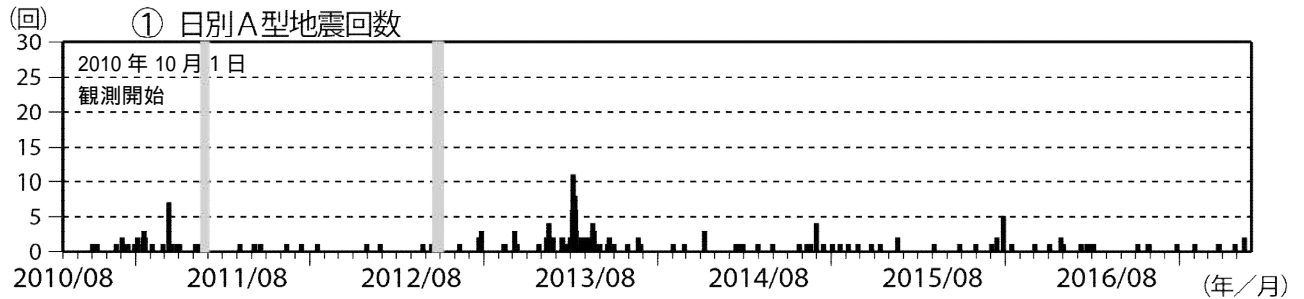


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2017年5月31日)

新島周辺の日別地震回数

・ 図の灰色部分は機器障害のため欠測を示します。

GNSS連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

・ は図1のGNSS基線に対応しています。

・ グラフの空白部分は欠測期間を示します。

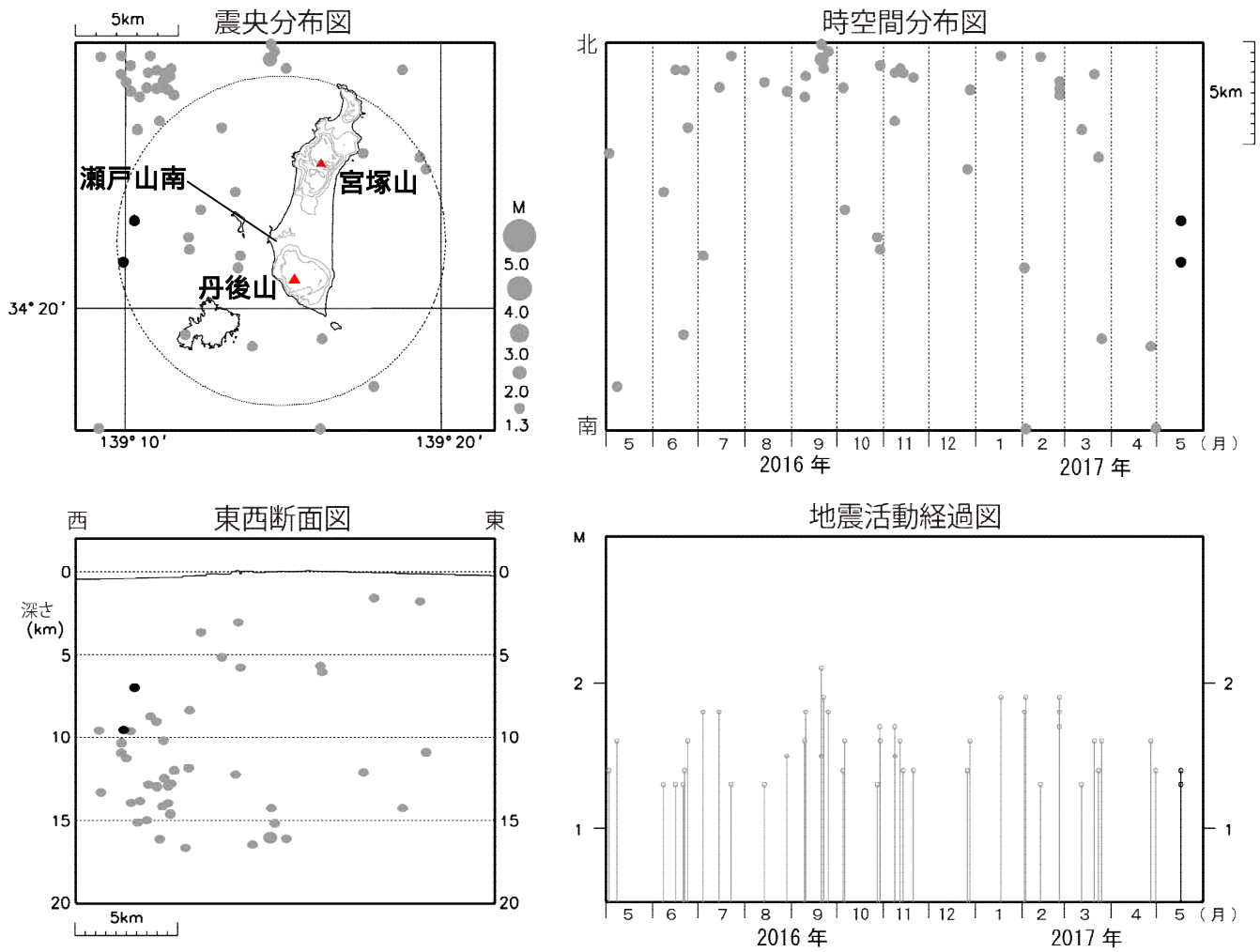


図4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016年5月1日~2017年5月31日)

：2016年5月1日~2017年4月30日 ：2017年5月1日~5月31日

- ・広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。
- ・M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.3以上の地震を示しています。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・震央分布図中の円は図3 - の日別A型地震回数の計数対象(瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内)の範囲を示しています。